



ベトナム国家搜索救助委員会
国立南部油濁対応センター(NASOS)

ベトナムにおける油濁防除体制 — 現状と改善への提言

ニュエン・ウィ・トロング
NASOS副所長



2014年2月6日 東京

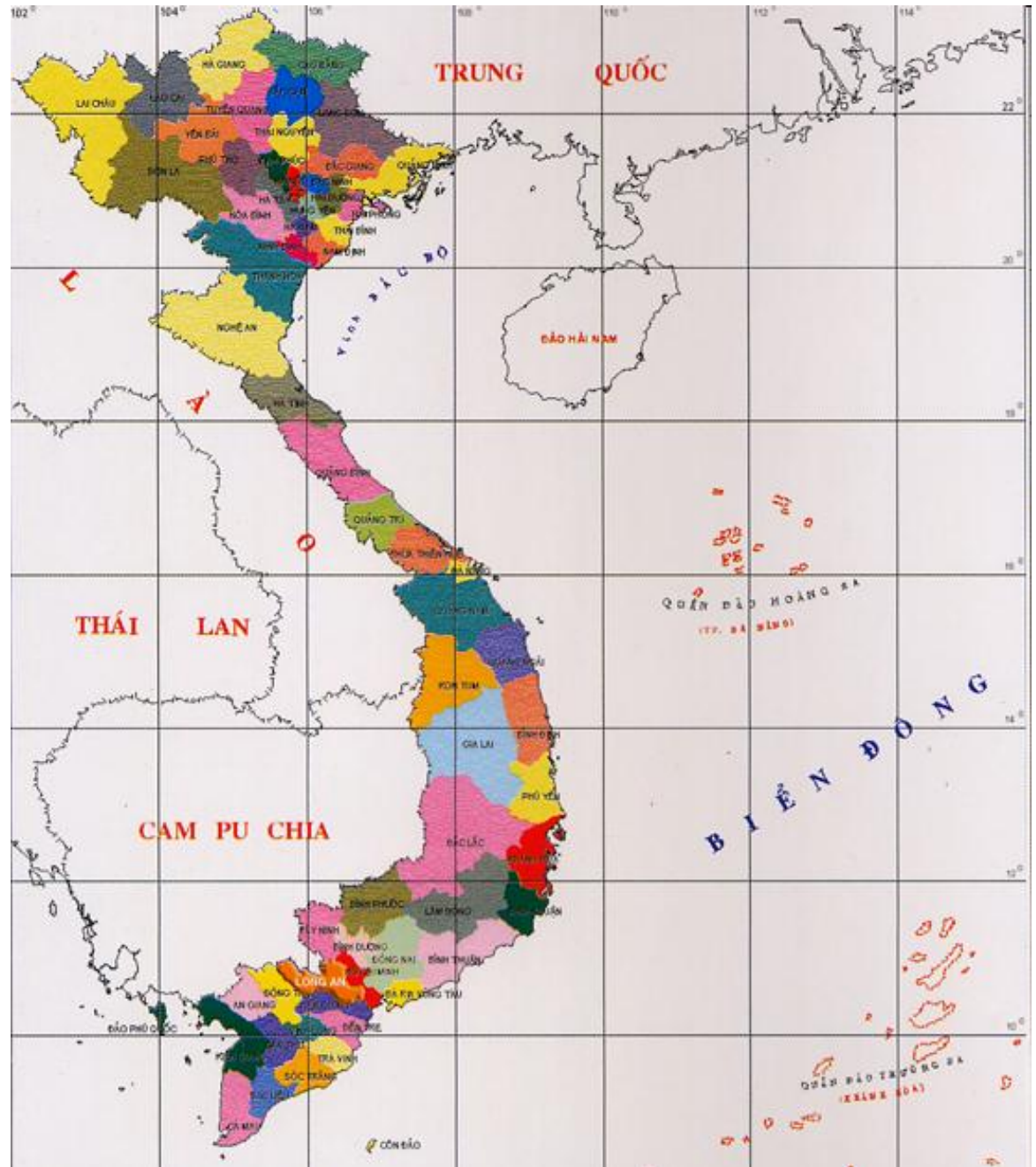
目次

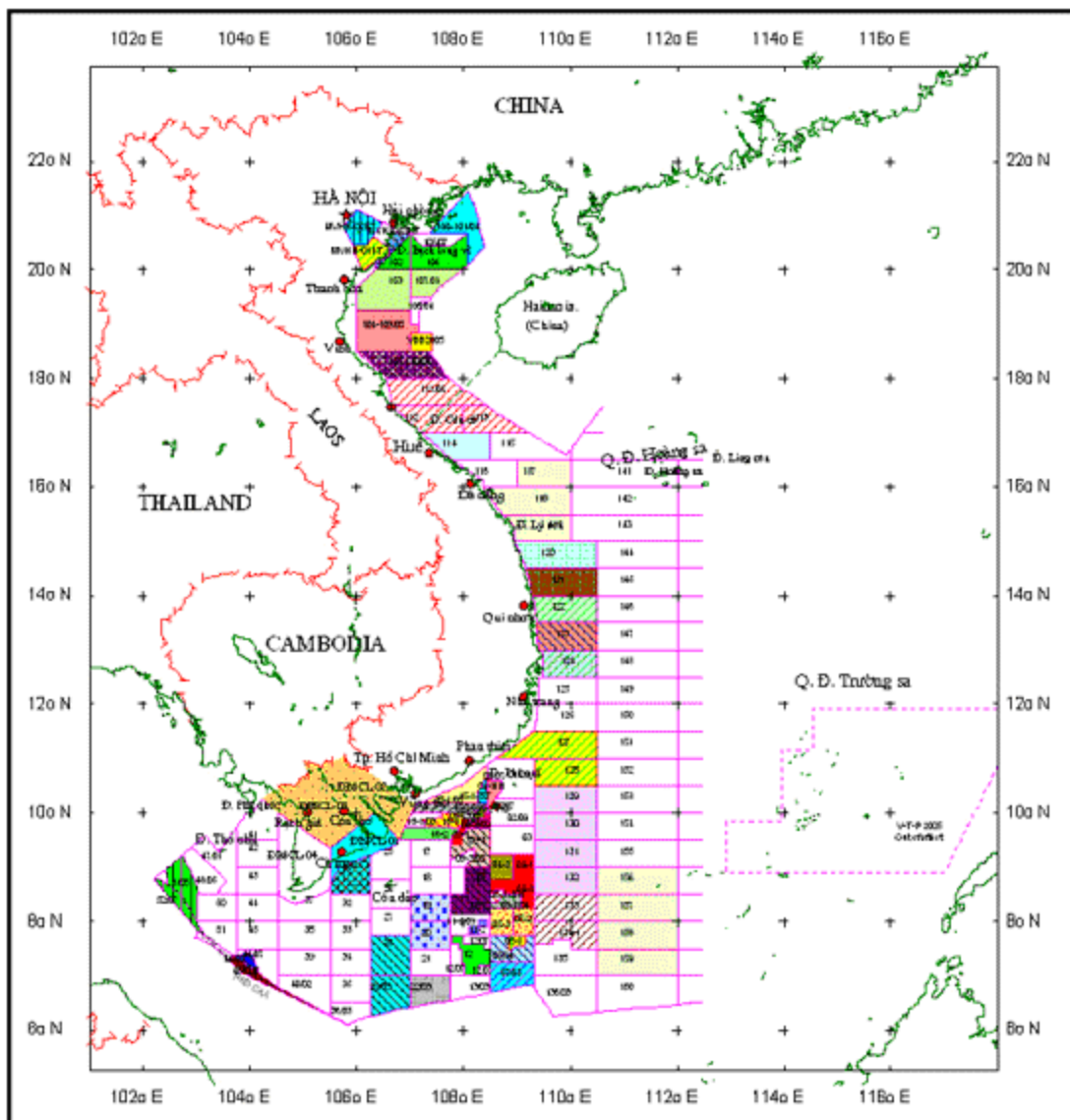
1. 油流出に関連したベトナムについての概要
2. ベトナムにおける油流出への対応システム
3. 油流出対応に関する国内法律文書
4. 油流出対応における国際協力
5. 地域レベルの油流出準備体制と対応能力の強化
6. 課題
7. 提言

油流出に関連した ベトナムについての概要



- 総面積:
約 330,000 km²
- 海岸線合計:
3,260 km
- 2,360を超える河川
および水路。
すべてを合わせると
全長42,000 kmを
超える。





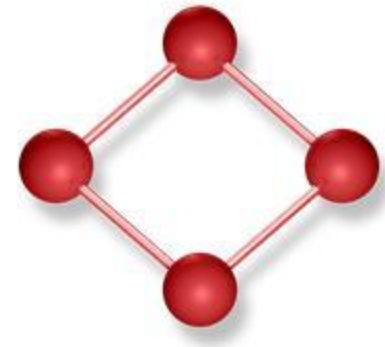
- 石油探査および生産活動
 - 輸送、貯蔵、移送および流通活動
 - ベトナムは南シナ海(イースト・シー)に 面している
- ベトナムは油流出に対し脆弱である

ベトナムにおける 油流出への対応システム

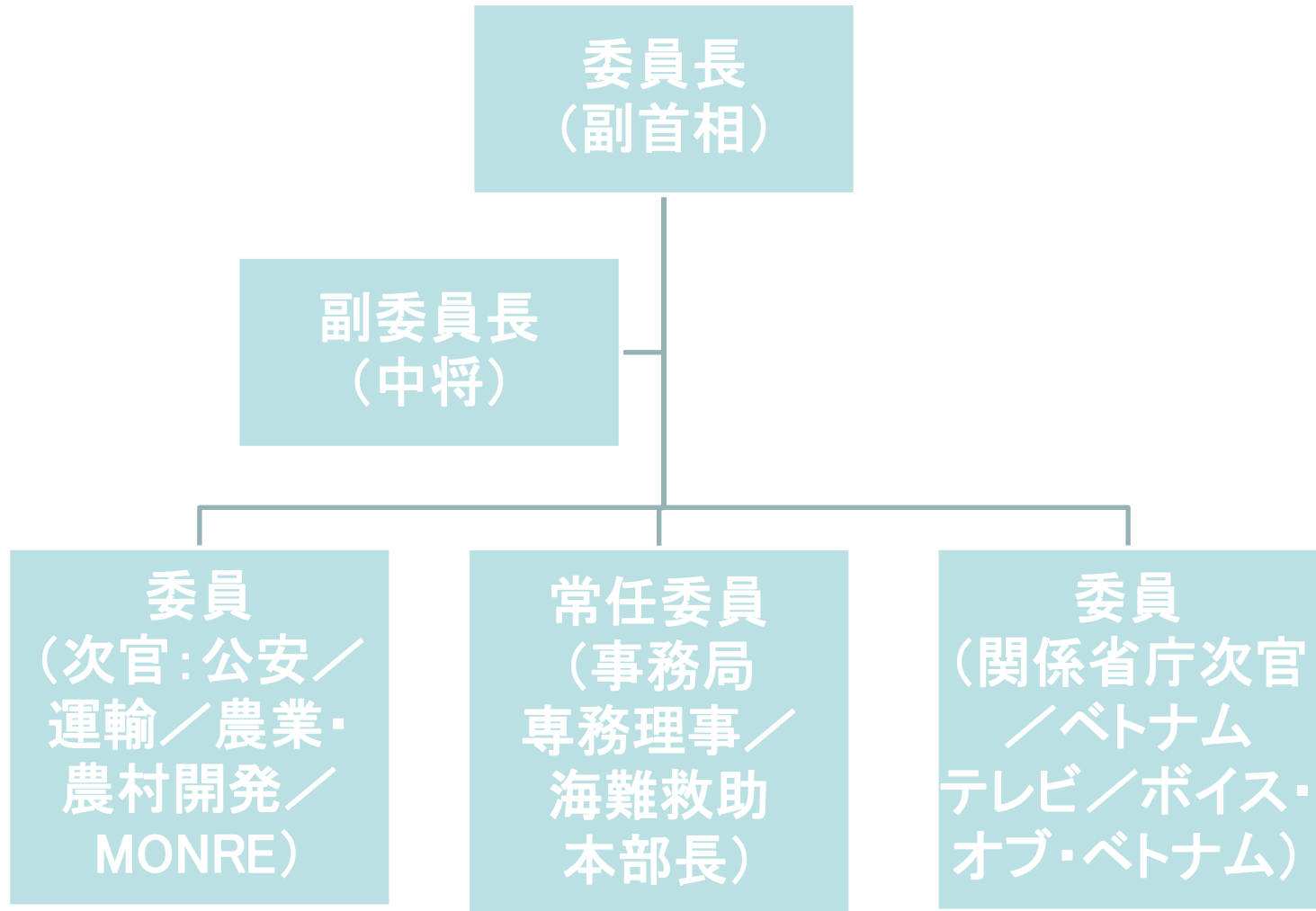


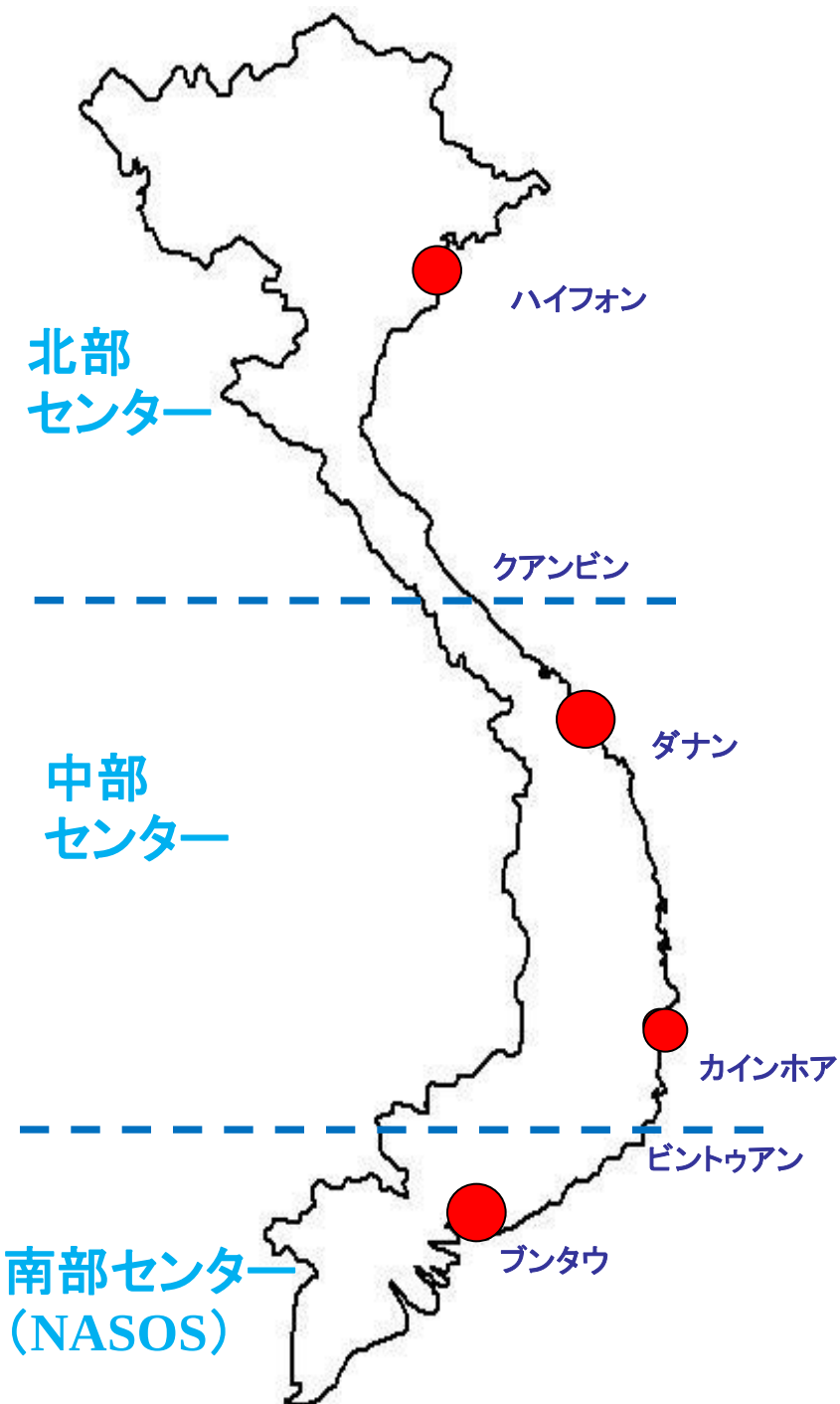
ベトナムの油流出対応における 3つの資源

- 政府の資源
- 地方の資源
- 民間産業の資源



ベトナム国家搜索救助委員会 (VINASARCOM)





ベトナムには、VINASARCOM
傘下に3つの地域油濁対応セン
ターが置かれている

□ 国立北部油濁対応センター：
ハイフォンのOSR基地

□ 国立中部油濁対応センター：
ダナンおよびカインホアの
OSR基地

□ 国立南部油濁対応センター：
ブンタウのOSR基地

3センターの能力

❖ 北部センター:

- ✓ 海洋回収船 3隻
- ✓ 河川油回収船 1隻
- ✓ 流出油貯蔵船(1,000m³) 1隻
- ✓ 油回収装置 4基
- ✓ オイルフェンス 3,500m、海岸線清掃用資機材

❖ 中部センター:

- ✓ 海洋回収船 2隻
- ✓ 油回収装置 3基
- ✓ オイルフェンス 5,000m、海岸線清掃用資機材

❖ 南部センター:

- ✓ 海洋回収船 2隻
- ✓ 油回収機 1基
- ✓ 海洋オイルフェンス 500m

(PV Drilling社との基本協定: オイルフェンス2,200m、油回収機9基、貯蔵タンク、河川油回収船2隻、海岸線清掃用資機材)



NASOS保有の油回収船2隻

NASOS I号

- 諸元:
 - + 589 DWT(載貨重量トン数)
 - + 559 GT(総トン数)
 - + 全長:44m
 - + 型幅:10.6m
 - + エンジン:2,000 BHP
 - + 最高速度:12ノット
 - + 流出油貯蔵: 180 m³
 - + 分散剤タンク:10 m³
- 操船範囲:公海、レベル1限定
- 引渡し:2010年11月

NASOS II号

- 諸元:
 - + 952 DWT
 - + 922 GT
 - + 全長:53m
 - + 型幅:12m
 - + エンジン:3,300 BHP
 - + 最高速度:12ノット
 - + 流出油貯蔵: 327 m³
 - + 分散剤タンク:12 m³
- 操船範囲:公海、レベル制限 なし
- 引渡し:2012年8月



ブンタウ市の基地

- 基地運用開始: 2012年10月
- 全面積: 26,000m²
(陸地6,000m²、専用水域および棧橋20,000m²)
- 棧橋: 全長130m、幅8-16m(船舶2隻の着棧用)



油流出対応に関する 国内法律文書

- ❖ 環境保護に関する法律(2005年11月29日付)
- ❖ No.129/2001/QD-TTg: 2001～2010年までの油流出対応に関する国家プランを承認する首相決定(2001年8月29日付)
- ❖ No.02/2013/QD-TTg: 油流出対応に関する規則を公布する首相決定(2013年1月14日付)
 - 油流出対応を3つのレベルに区分
 - 油流出事故を3つの段階に区分
 - 油流出に対する準備
 - 油流出事故の原因特定のための調査
 - 油流出の影響の解決手順
 - 油流出における全関係者の責任明示

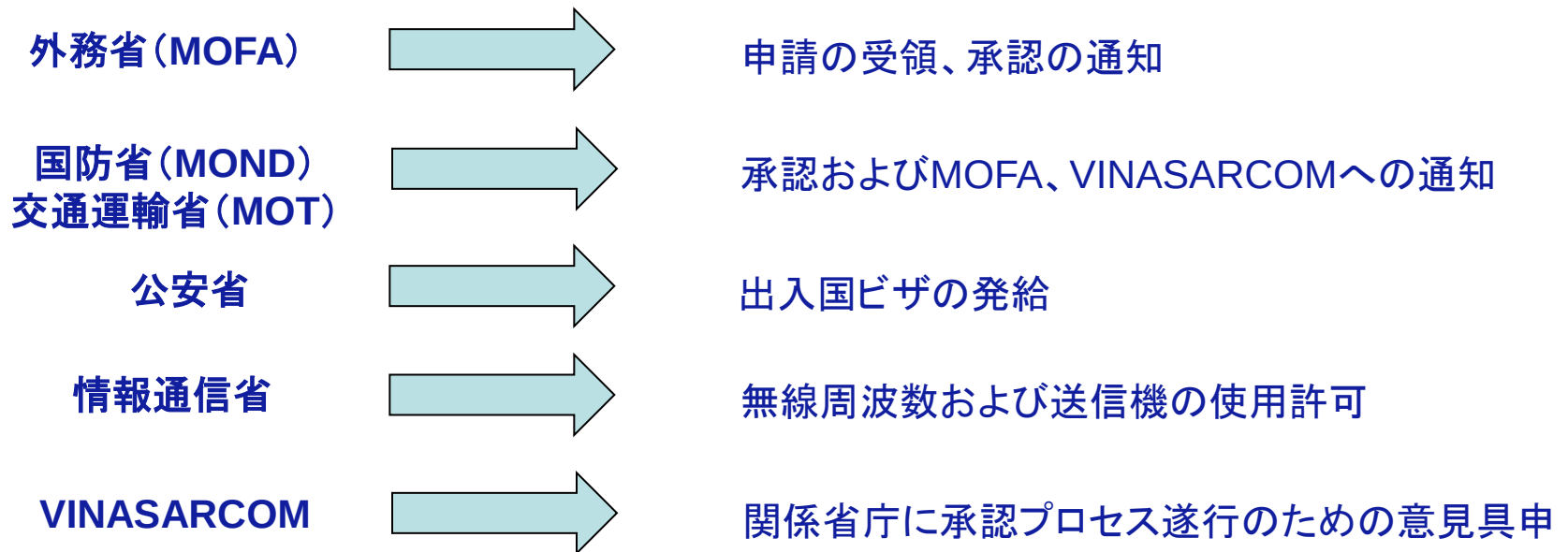


■ ベトナムにおける外国の搜索救助隊の活動許諾および同隊との協力に関する制令95/2010/ND-CP:

■ 外国の搜索救助隊の参加承認の手順

■ 承認機関:

■ 承認時の調整:



油流出対応における 国際協力

タイ湾での油流出への準備・対応における協力に関する共同声明(GOTプログラム)

- ✓ PEMSEA(東アジア海域環境管理パートナーシップ)の主導
- ✓ 2006年1月12日ハノイにおいて、カンボジア、タイおよびベトナムにより調印
- ✓ 目的:タイ湾全域における情報交換、共同の研究開発プロジェクト、訓練、OSR演習および対応における相互支援、共同体制、パートナーシップの構築および運用を通じ、油濁予防、油流出への準備および対応に関する国家および地域レベルの能力を強化する



GOTプログラム(続き)

枠組みプログラム

- ✓ NOSRC(国立油流出対応センター)の指定
- ✓ 報告、警告および連絡
- ✓ 訓練および情報の共有: www.got-pemsea.com
- ✓ 対応における相互支援
- ✓ 利用可能な資源
- ✓ 関係者間の人員、船舶および資機材の移動
- ✓ 返済の手順
- ✓ 共同油流出対応
- ✓ 調整

GOT訓練およびNCP会合

GOT訓練 V

期間:3日間、2012年4月17～19日

- 開催地:カントー市
- 目的:
 - + 油流出対応に関する法律文書の確認
 - + 油流出への対応法
 - + 机上演習(5グループ)
 - + PV OilのOSR資機材視察およびカントーにおける河川演習の見学

2011年NCP会合

- 期間:3日間、2011年10月3～5日
- 開催地:ホーチミン市
- 目的:全NCPの年次会合ならびにITOPFおよびIOPC基金の専門家が行う請求・補償に関するワークショップ

GOT訓練 VI

期間:3日間、2013年5月14～16日

- 開催地:ブンタウ市
- 目的:
 - + 油流出対応に関する新規定:旧規定と比較した新規定の内容
 - + 油流出事故の概要
 - + 油流出対応におけるESI地図の役割
 - + 基本レベルでのOSCPの評価:焦点を当てるべき重要な内容
 - + 演習:OSCPの評価(5グループに分割)
 - + 油流出対応における廃棄物の管理
 - + 州間における油流出への対応協力
 - + ブンタウOSR基地およびNASOSの油回収船2隻を視察

2011年NCP会合



GOT訓練 V(2012年)



GOT訓練 VI(2013年)





GOTプログラム(続き)

タイ湾プロジェクトにおけるESI地図の作成

- ✓ プロジェクトの名称: 特定地区を含む海域における油流出への準備・対応体制の強化: タイ湾における環境脆弱性地図の作成
- ✓ プロジェクト期間: 2012年7月～2013年12月
- ✓ 実施機関: IMO、PEMSEA
- ✓ プロジェクトの目的: 湾の沿岸資源・海洋資源、沿岸部、海洋区域および官報告示区域沿いに存在する経済活動、ならびに緊急時サービス、流出対応用資機材および関連サービスの場所を網羅した油流出事故への準備と対応のためのGOT脆弱性地図の作成
- ✓ プロジェクトの成果:
 - 縮尺1/50,000のESI地図作成に関する最終報告書
 - 縮尺1/50,000のタイ湾ESI地図セット(GOT地図帳)(A0版、ラミネート)

**Final Workshop on
Environmental Sensitivity Index Mapping
in the Gulf of Thailand**

6 Dec 2013
Dusit Hotel Philippines



- 地図：添付の地図（英語）をご覧ください
- 解説：添付の解説をご覧ください

油流出への共同準備・対応体制に関する ベトナム・フィリピン間の覚書

- ✓ 2010年10月26日ハノイで調印
- ✓ 協力分野：
 - 人的資源の開発
 - 相互支援
 - 情報交換
 - 研究開発
 - その他

油流出への共同準備・対応体制に関する ベトナム・フィリピン間の覚書

- ✓ MOAの承認
- ✓ 連絡チャンネルの構築
- ✓ キックオフミーティング

地域レベルの油流出準備体制と 対応能力の強化



演習

- ❖ 3地域センターでの内部演習
- ❖ 石油会社による年次演習：PV Drilling社が実施
- ❖ 全国演習：第1回：2002年

NASOS内部演習

❖ 目的:

- NASOS要員全体のOSR専門能力の向上、特に対応チームにおけるOSRスキルの強化を行う
- 人員、OSR資機材・施設、連絡方法および関係チーム間の調整に関するNASOSの能力をテストする
- 新人のOSR資機材とその機能および実際の操作方法への精通ならびに流出油対応に関わる各チームメンバーの役割りおよび責任の明確な 理解を助ける

NASOS内部演習(続き)

❖ 資機材および設備:

- 油回収船 2隻:NASOS IおよびNASOS II
- Ro-boom(オイルフェンス) 2セット:250m/セット
- 沖合用油回収機 1基:66m³/h
- 一時貯蔵タンク 1基:25トン
- 分散剤散布装置 1基
- 油圧装置 3基

❖ 人員:

- 2隻の船舶NASOS IおよびNASOS IIの乗組員:24名
- NASOS海洋対応チーム:14名



訓練

- ❖ 3地域センターにおいて指定区域の地方環境担当官向け年次訓練
- ❖ 石油会社のHSE(健康・安全・環境)要員向け訓練:
PV Drilling社が実施
- ❖ 軍要員向けの訓練:VINASARCOMが計画・実施
- ❖ 地方事務官向けの訓練:地方ごとに計画・実施

課題



- ✓ 油流出への対応能力
- ✓ 油流出事故に起因する損害および損失を確実に補償するための財政面の保証
- ✓ 油流出対応を支援する外国救援隊のベトナムへの動員手順および形態
- ✓ 分散剤使用に関する規制



提言



- ✓ 分散剤使用に関する規定の速やかな公布
- ✓ 油流出対応を支援する外国救援隊をベトナムに動員するための承認手順、形態および制限事項
- ✓ 油流出対応サービスを提供する民間企業に対する企業優遇措置
- ✓ 事業に対する定期検査の強化



質疑応答

お問い合わせの際は、以下にご連絡ください

Mr. Nguyen Huy Trong

Permanent Deputy Director

The National Southern Oil Spill Response Center (NASOS)

4th Floor, 43 Mac Dinh Chi Street

District 1, Hochiminh city, Vietnam

Tel: +84-8-38242120

Fax: +84-8-38242125

Cell: +84-937 000 334

Email: trongnh@pvdrilling.com.vn

